



平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月15日

上場取引所 東

上場会社名 ウィンテスト株式会社

コード番号 6721 URL <http://www.wintest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奈良 彰治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 樋口 真康

TEL 045-317-7888

四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	239	△20.5	△108	—	△109	—	△106	—
23年7月期第2四半期	300	△28.9	△109	—	△109	—	△103	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	△2,164.22	—
23年7月期第2四半期	△2,092.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第2四半期	1,214	1,029	84.5	20,821.96
23年7月期	1,346	1,139	84.4	23,060.58

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 1,025百万円 23年7月期 1,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,057	81.2	40	—	38	—	40	—	830.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年7月期2Q	49,274 株	23年7月期	49,274 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年7月期2Q	— 株	23年7月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	49,274 株	23年7月期2Q	49,274 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の世界経済は、欧州での債務問題の拡大や米国市場低迷の長期化などにより、欧米景気の停滞が鮮明となった一方で、中国、インドなどの新興国においても輸出の減速等により、成長率は鈍化の傾向に転じました。

わが国経済に関しては、東日本大震災の発生に伴う電力供給問題やサプライチェーン障害の影響を受けながらも、製造業全般での生産は回復に向かいましたが、海外景気の下振れや円高、タイの洪水被害の影響等により先行きが不透明な状況が続いております。

当社が属する半導体、フラットパネル業界におきましては、景気の先行き不透明感から設備投資の抑制傾向が継続いたしました。

こうした中、当社は新たな製品と機能拡張オプションを提供するとともに、機能強化の開発を継続し、製品ラインアップの充実による売上拡大と新規顧客の開拓に取り組みました。

また、顧客ニーズにより迅速、的確に対応できる営業推進体制として導入した営業担当とエンジニアが一体化した営業組織による売上の拡大を推進いたしました。

加えて、部品調達の効率化と調達先の選別、及び開発工程の見直しによる原価低減と固定費削減策の実施により過去最低レベルの経費水準を目指し、営業損益の改善を図りました。なお、その一環として役員報酬の一部をカットするとともに社員給与の削減も実施いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は239,032千円（前年同期比20.5%減少）、営業損失108,241千円（前年同期は営業損失109,220千円）、経常損失109,404千円（前年同期は経常損失109,363千円）、四半期純損失106,639千円（前年同期は四半期純損失103,115千円）を計上することになりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ118,237千円減少し、1,102,792千円（前事業年度末比9.7%減）となりました。この主な要因は、現金及び預金が190,307千円減少したことと、受取手形及び売掛金が76,259千円、仕掛品が75,933千円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ13,868千円減少し、111,385千円（前事業年度末比11.1%減）となりました。この主な要因は、工具器具備品が9,699千円減少したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ12,330千円減少し、63,382千円（前事業年度末比16.3%減）となりました。この主な要因は、その他の流動負債が22,561千円減少したことと、買掛金が9,447千円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ9,469千円減少し、121,566千円（前事業年度末比7.2%減）となりました。この主な要因は、長期借入金が9,234千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ110,305千円減少し、1,029,229千円（前事業年度末比9.7%減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が106,639千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、今後の経済情勢、外部環境等が引き続き不透明ではありますが、概ね予想の範囲内で推移すると見込んでおり、平成23年9月13日に公表いたしました平成24年7月期の業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当第2四半期累計期間におきましては、欧米諸国の景気減速による円高及びタイの洪水の影響により当社が関連する半導体業界の景況感は悪化、先行き不透明な状況は改善せず、顧客の設備投資が抑制されたこと等により、売上高は239,032千円と低調にとどまり、営業損失108,241千円を計上することになりました。また、営業キャッシュ・フローは主に税引前四半期純損失106,426千円計上及び売上債権とたな卸資産がそれぞれ76,259千円と27,480千円増加したこと等から181,105千円のマイナスとなりました。当該状況により、当社には継続企業の前提に関する重要事象等が存在している状況にあります。

当社はこうした状況を解消するため、以下の取組みを継続して実施しております。

顧客ニーズに対応した新検査装置や機能拡張オプションの開発により、差別化した製品ラインアップを提供し、売上拡大及び新規顧客の開拓に向け積極的な営業展開を図るとともに、部品調達先及び開発工程の見直しによる原価低減と過去最低レベルの経費水準を目指した大幅な固定費削減による営業損益の改善策を推進しております。また、営業担当とエンジニアが組織的にも一体化した営業推進体制は、顧客の支持を得ており顧客満足度の向上に資する製品開発に努め、今後も新規顧客の獲得に取り組んでまいります。

その他、財務面におきましても必要十分な現預金を有していることに鑑み、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,368	521,060
受取手形及び売掛金	156,166	232,426
商品及び製品	42,408	—
仕掛品	258,244	334,178
原材料及び貯蔵品	8,661	2,617
その他	44,179	12,509
流動資産合計	1,221,029	1,102,792
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,231	11,231
減価償却累計額	△2,105	△2,867
建物(純額)	9,125	8,363
車両運搬具	12,835	12,835
減価償却累計額	△12,172	△12,227
車両運搬具(純額)	662	607
工具、器具及び備品	159,386	154,386
減価償却累計額	△123,992	△128,692
工具、器具及び備品(純額)	35,394	25,694
有形固定資産合計	45,182	34,665
無形固定資産		
電話加入権	358	358
ソフトウェア	1,747	1,240
無形固定資産合計	2,105	1,599
投資その他の資産		
投資有価証券	31,686	28,020
敷金	14,667	14,667
長期前払費用	31,611	32,432
投資その他の資産合計	77,966	75,120
固定資産合計	125,254	111,385
資産合計	1,346,283	1,214,178

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,735	25,182
1年内返済予定の長期借入金	15,173	18,468
未払法人税等	2,911	3,251
賞与引当金	3,420	2,267
製品保証引当金	7,096	5,398
その他	31,376	8,815
流動負債合計	75,713	63,382
固定負債		
長期借入金	123,947	114,713
資産除去債務	5,428	5,468
その他	1,660	1,384
固定負債合計	131,035	121,566
負債合計	206,748	184,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	997,101	997,101
資本剰余金	1,104,350	1,104,350
利益剰余金	△960,528	△1,067,167
株主資本合計	1,140,923	1,034,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,636	△8,302
評価・換算差額等合計	△4,636	△8,302
新株予約権	3,247	3,247
純資産合計	1,139,534	1,029,229
負債純資産合計	1,346,283	1,214,178

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	300,751	239,032
売上原価	162,004	131,692
売上総利益	138,746	107,340
販売費及び一般管理費	247,967	215,581
営業損失(△)	△109,220	△108,241
営業外収益		
受取利息	203	104
為替差益	—	66
還付加算金	—	247
その他	138	41
営業外収益合計	341	460
営業外費用		
支払利息	—	1,212
為替差損	378	—
支払手数料	90	388
雑損失	17	22
営業外費用合計	485	1,622
経常損失(△)	△109,363	△109,404
特別利益		
投資有価証券売却益	9,404	—
固定資産売却益	—	2,977
特別利益合計	9,404	2,977
特別損失		
固定資産除却損	426	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	402	—
特別損失合計	828	—
税引前四半期純損失(△)	△100,788	△106,426
法人税、住民税及び事業税	499	488
法人税等調整額	1,826	△275
法人税等合計	2,326	212
四半期純損失(△)	△103,115	△106,639

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、半導体検査装置の開発、設計、販売並びに技術サポートを事業内容とする単セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。